

# 穂学



令和3年度

広州日本人学校 学校便り

[No.6]

令和3年8月4日(水)

発行責任者 校長 加藤康徳

## 「1学期が終わります。」

本日、1学期の終業式を体育館で実施しました。今学期は広州市における新型コロナウイルス感染拡大の対応などで、予想以上に学校として様々な判断をしなければならなかった学期でした。決してBestではありませんでしたが、保護者の皆様と協力して児童生徒の教育を受ける権利を保障することができたことがこの学期の大きな成果だと考えております。普段は気づきもせず、当たり前だと思っていた環境が実は子どもたちにとっていかに貴重なものであったのかを改めて実感した学期でした。

ただ、夏休みを前に今度は広東省以外の中国国内において、中高リスク地域が拡大しております。別途配信した「夏季休業中における広東省外への旅行等について(依頼)」にも書かせて頂きましたが、先日より中国政府の対応レベルがその厳しさを増してきております。二学期も安心して子どもが学習できる環境を整えるためには保護者の皆様のご理解とご協力が不可欠となります。夏季休業中の広東省外への移動には十分に気をつけて頂きますようよろしくお願いをいたします。

また、本日で広州日本人学校を去る児童生徒の紹介を式の中で行いました。いつの日か広州日本人学校の「5つのつながり」を思い出し、広州日本人学校での学びを糧に逞しく成長してもらいたいです。これからの子ども達の更なる活躍に期待しています。

### <関連資料>

広州日報などを参考に本校が独自に8月1日現在の広東省政府当局の発表を作成したものです。詳細については各自HPなどでご確認ください。

広東省政府当局は、中国国内で新型コロナウイルス感染症が拡大していることを受け、「省をまたいで移動すること」や「リスク分類で中高リスクに指定されている地域に足を運ばないこと」などを求めた。(8/1発表)

- 省外からの移動については、移動前に滞在した地域によっては、14日間の隔離や高頻度でのPCR検査を実施する対応を取る。
- 省外の中高リスク地域以外の場所からの移動者については、自主的なPCR検査を求める。

## 「つながりを未来に実感させる活動の紹介」

広州日本人学校では今年度より学校経営のスローガンを「つながりを未来に実感させる広州日本人学校の創造」と設定し、それぞれのつながりを実践しています。

＜学校経営のスローガン＞  
**「つながり」を「未来に実感」させる**  
**広州日本人学校の創造**

＜大切にしている5つのつながり＞

- ①先生とのつながり
- ②授業とのつながり
- ③友だちとのつながり
- ④保護者・日本人社会とのつながり
- ⑤中国とのつながり



＜子どもへの応援メッセージ（4階）＞



＜中学部活動＞



＜教職員の送迎＞



＜中国人スタッフへの質問（小3総合）＞



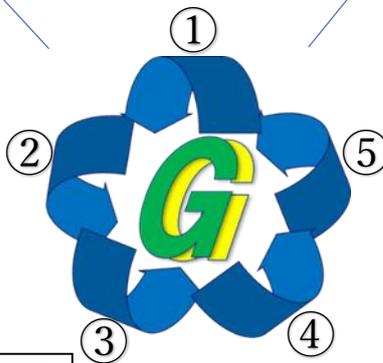
＜学習の振り返り活動（中2）＞



＜SDGsの学習（中1CT）＞



＜プール学習前事前研修＞



＜広州市の紹介（小5総合）＞



＜虫取り（小1・2年生活科）＞



＜キッズタイムの活動＞



＜PTA役員による活動室の清掃＞



＜読み聞かせボランティア＞



＜1年生を迎える会＞



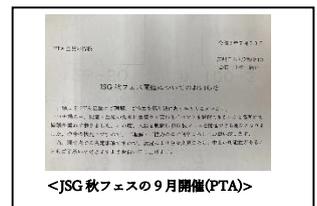
＜音楽発表会（小4）＞



＜中3職場体験＞



＜小6修学旅行（夜レク）＞



＜JSG秋フェスの9月開催(PTA)＞